

「奇跡のリング」感想文

浅井 優子

この本を読み進めていく中で、木村さんの夢に対する情熱の強さ、夢が実現できない事からの挫折、夢にまで見た成功、全てに涙が止まらず、本当に素敵なた物語を読ませて頂きました。自分をここまで痛めつけて、心も苦しくなり、精神的にも追い詰められて、本当につらく厳しい道のりだったと思います。社長のおっしやっていた様に、どれだけ努力をするかによって、成功した時の達成感が全く違ってくると思います。

この本を読みながら、本当にリセラの化粧品を取り扱っていていく中で大切な事に次々と気が付かされました。石油系の人間が作り出した科学的な物質を使ってしまいう事で、本来のりんごの美味しさが引き出せていない様に、お肌の本当の輝きもリセラでしか引き出す事は出来ないんだと思います。また、木村さんがドンガリの木を見つけた時に悟った様に、

自然に背く様な事をしているのは、本当の美しさは得られません。一番は、人間が本来持っている自然治癒力や新陳代謝を正常に働かせる事が、美しさを引き出すカギだと気付きました。先生が常におっしゃっている「お肌に負担をかけない」というのが何となくわかった気がしました。木村さんが「農業機械は一切畑に入れない」というように、ダイヤで古い角質を取るのも表面の古い角質だけは取るけど、その下の細胞はしっかりと働いてくれるように刺激を与えたり、傷つけたりする事は絶対にしない。だから吸引等はしないという事がわかりました。今まで「吸引は細胞が壊れる」と先生がおっしゃっている聞いていました。だから、マツサージもあまりやりすぎると細胞を刺激する事になるので、力加減が重要なのかなと思いました。

目に見えている部分ばかりに気を取られていて、目に見えない部分を見る努力が出来て

いないという部分も、トベストキッド」や「カモメのジョナサン」を読んでいてもいいから理解できておらず、ピンと来るものがありませんが、その原因は一つの事だけで起こっているのではなく、さまざま要因が重なって出ている可能性の方が高い。それを見極められなければ、いくら素晴らしい化粧品を持つていても使い方を間違えれば、何も解決せず、あるいは悪化させてしまう事さえ起こります。

私の中では、この本との出会いはとても大きなものになった気がします。この気付きを忘れず、日々お客様の肌と向き合い、見えな
いものを感じ取り取るように日々邁進して参ります。